

通期の課題と見通し



複合システム提案の時代へ

今後の経済状況につきましては、イラク問題の長期化や原油価格動向などの不確定要因はあるものの、世界経済の回復を背景に、引き続き景気が回復することが予想されます。

そのような状況にあって、積極的にITを活用し経営改善を図ることは、規模の大小を問わず全ての企業に求められています。その背景として、インターネットを活用した企業間取引や基幹系システムの抜本の見直しに加え、ADSLや光ファイバーの普及、いわゆるブロードバンドの進展により、データ・音声・映像の統合が更に進むと考えられます。また、基幹系と情報系、インフラとアプリケーション、デジタル複写機とコンピュータの融合など、今まで以上に複合提案・総合ソリューションが求められる時代になりつつあります。このことは、コンピュータ系、複写機系、通信系など、単一分野だけの取り扱いでは総合的な提案ができないことを意味しております。

「ミッションステートメント」の具現化

当社グループは創業以来、お客様のご要望にお応えしながら複写機からコンピュータ、通信機器、インターネット等まで、一社で提供できるソリューションやサービス&サポートの分野を拡大してまいりました。今後も、中長期的な経営戦略に基づき、対処すべき課題を解決し、「ミッションステートメント」の具現化に努め、さらなる企業価値の向上を目指してまいります。

具体的には、「New-Web戦略」の推進により取引顧客の深耕・拡大を図るとともに、「トータルαサポート21」の強化、「たのめーる」、「ODS21」、「SMILE」への注力を軸に、収益力の確保と売上の伸長を図り、あわせて事業評価をさらに徹底したうえで、これら今後伸長が期待できる事業領域に経営資源を集中させグループ経営の一層の向上に取り組んでまいります。

通期の見通し

通期の連結業績見通しにつきましては、平成16年7月22日に上方修正いたしましたとおり、売上高3,693億円(前年同期比7.2%増)、経常利益141億10百万円(前年同期比55.8%増)、当期純利益97億20百万円(前年同期比295.6%増)を計画しております。